

# 製品安全データシート

作成: 2021年01月13日

改訂: 2023年12月12日

確認: 2023年12月12日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	ライザセル WDF II
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
緊急連絡先	シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL: (078) 991-1911 (代表) FAX: (078) 991-1917
推奨用途	臨床検査測定用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

## 2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	区分に該当しない
GHS ラベル要素	
危険有害性を表す絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	
安全対策	該当しない
応急措置	該当しない
保管	該当しない
廃棄	該当しない
他の危険有害性	該当しない

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
危険有害成分	
化学名又は一般名 濃度(範囲)	該当しない
化学式	該当しない
CAS 番号	該当しない

## 4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	直ちに多量の水で15~20分以上眼を洗う。直ちに医師の手当て診断を受ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	直ちに口を水で十分洗い流すこと。生理的食塩水で胃洗浄する。直ちに、医師の診断、手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	情報なし

---

## 5.火災時の措置

---

適切な消火剤	水
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、周辺火災に応じて空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

## 6.漏出時の措置

---

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。作業者は適切な保護具（8. 暴露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。乾燥砂、オガクズ、ウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。危険でなければ漏れを止める。除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
二次災害の防止策	情報なし

---

## 7.取扱い及び保管上の注意

---

取扱い	
技術的対策	8 項の記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱注意事項	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずるなど乱暴な扱いをしない。
接触回避	眼、皮膚との接触を避けること。飲み込みを避けること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	2～35℃で直射日光・粉塵等を避けて保管する。天地無用。
安全な容器包装材料	密閉式の破損しないものに入れる。

---

## 8.ばく露防止及び保護措置

---

管理濃度	未設定
許容濃度	情報なし
日本産業衛生学会	
ACGIH	
設備対策	取り扱い場所の換気を充分行えるように換気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	特になし
手の保護具	適切な手袋（ゴム）を着用すること。
眼、顔面の保護具	適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

---

## 9.物理的及び化学的性質

---

物理的性状	
物理状態	液体
色	無色透明
臭い	なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	約 100℃
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	データなし
自然発火点	データなし

---

分解温度	データなし
pH	約 6.2
動粘性率	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	凍結禁止、直射日光、粉塵等を避ける。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分に該当しない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に該当しない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない
誤えん有害性	区分に該当しない

## 12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
他の有害影響	情報なし

## 13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)当該化学品が 付着している汚染容器及び包装の 安全で、かつ、環境上望ましい廃 棄、又はリサイクルに関する情報	法令及び各都道府県の条例等に従って適切に処理する。 行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理 法に従って適切に処理してください。
---	--

## 14. 輸送上の注意

国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則 (ICAO/IATA)	該当しない
国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類(危険有害性クラス)	該当しない
容器等級	該当しない
その他の安全対策	容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のない

	いように積載し、荷崩れの防止を確実にを行う。
<b>国際海上危険物規則</b>	
国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類(危険有害性クラス)	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない
その他の安全対策	該当しない
<b>国内規制</b>	
海上規制情報	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
航空規制情報	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
陸上規制情報	
輸送の特定の安全対策及び条件	重量物を上積みしない。天地無用。
<b>15. 適用法令</b>	
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)	該当しない
化審法	該当しない
消防法	該当しない
労働基準法	該当しない
航空法	該当しない
船舶安全法	該当しない
大気汚染防止法	該当しない
水質汚濁防止法	該当しない
土壌汚染対策法	該当しない
下水道法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
麻薬及び向精神薬取締法	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当しない
<b>16. その他の情報</b>	
一般的注意	ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。
その他の情報	[注意] 本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。
略語、頭文字の意味/凡例	化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 安衛法：労働安全衛生法
データの主要な文献参照と出典	情報なし